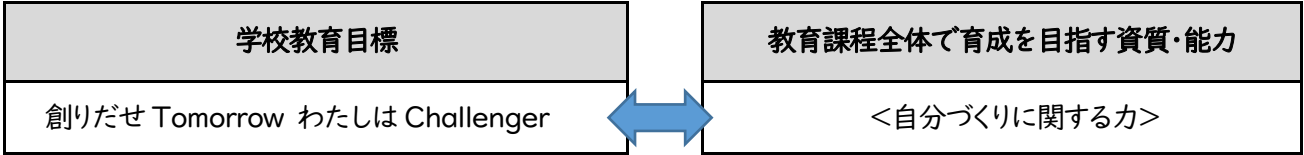


1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力



(2) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活を送れるようにします。 学習の楽しさを実感できる授業づくりをし、児童が主体的に課題解決する力を育みます。 考えを伝え合う機会を大切に、他者を理解する態度、自己を理解する態度を身に付けられるようにします。 まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通してまちを愛する心を育てます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①「主体的に学びをつくる子ども」を目指し、生活科・金沢タイムを中心に授業研究を行う。「わかった」「できた」の経験を増やすため、めあてと振り返りを意識した授業改善に取り組む。 ②幼保小接続について研究し、学びと育ちの連続性を意識したカリキュラムを作成する。
担当	研究・研修部

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

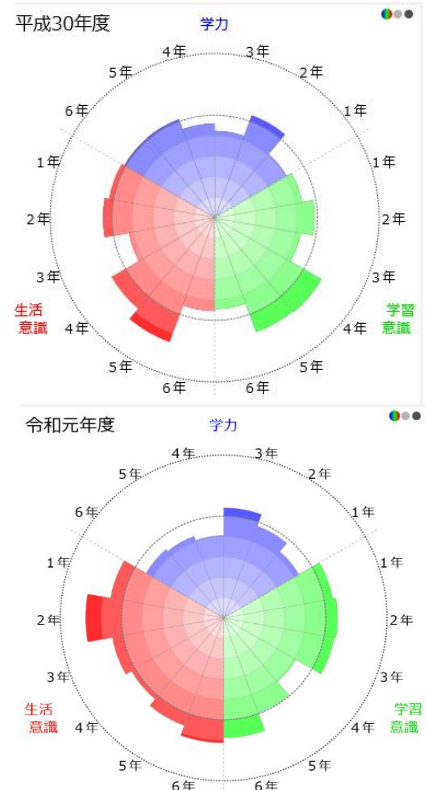
学習意識、生活意識、学力共に平成30年度と比べて高くなってきている。生活意識については、どの学年も市平均を上回っている。「勉強は好きですか」の問いに対して、全校児童の8割近くは「好き」「どちらかといえば好き」と答えているが、学力の向上につながっていない状況が続いている。めあてと振り返りを意識し、興味・関心を生かした授業展開により、主体的に課題解決する力を育むとともに、「わかった」「できた」の経験を増やすよう授業改善していく。

(2) 学力層を経年変化でとらえた分析

過去3年間を見ると、学力が横浜市の平均に比べて低い状況が続いている。生活意識調査は市平均を初めて超えた。学習意識も市平均を上回る学年が増えてきている。児童が主体的に取り組む問題解決学習、目的意識や相手意識を明確にした言語活動を充実させることによって、学習に対する意識だけでなく、学力も伸ばせるようにする。

(3) 学習意識・生活意識と学力層とのクロス集計による分析

個に応じた指導の必要性も明らかである。学力が低い児童は、学習意識、生活意識も低い。特別支援教室における個別の指導や朝のスキルタイムを活用して、基礎・基本の力や学習習慣を定着させていく。



3 令和2年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◆身近な事象に積極的にかかわる態度 ◆好奇心 ◆気持ちを伝え合う姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちの先行経験や気づきを適切に捉えて支援することで、自分のこととして課題に向かえるようにする。 ○気づいたことや楽しかったことについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法で表現し、考えられるようにする。
2年		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを書いたり伝えたりする経験を多くもち、筋道立てて話したり、友達の考えを理解したりできるようにする。 ○自ら考え創りだそうとする力があるので、実感や体感を大切に、より深い理解につなげる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◆他者を理解する態度・自己を理解する態度 ◆自分らしさを発揮しようとする姿勢 ◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科の学習を通して、他者に自分の思いを伝えるために必要な語彙力を身に付ける。 ○言語活動の時間を充実させ、他者の考えや意見を認め合えるようにする。
4年		<ul style="list-style-type: none"> ○様々な文章を読んだり、分からない言葉を自ら辞書で調べたりすることを通して、語彙を豊かにし、自分の思いを表現する力を高める。 ○各教科の学習や友達との関わりの中で、相手の話の中心に気を付けて聞き、自分の考えを深めることができるようにする。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ◆他者を思いやる気持ち ◆課題解決のために協働的に行動する姿勢 ◆夢や目標をもち、生き方を追求する姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の生活での友達や委員会活動、クラブ活動での下級生との関わりの中で、それぞれの立場に立って考えられるようにしていく。 ○総合的な学習の時間の授業を中心として、課題設定を児童自ら行えるように支援していく。
6年		<ul style="list-style-type: none"> ○友達との関わりの中で、他者の気持ちを理解し、その時々課題に対し、協働的に課題解決できるように支援していく。 ○教科等の内容を参考としながら、個々の夢や目標をもつことの大切さを伝える。
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> ◆身近な事象に積極的にかかわる態度 ◆思いや考えを表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の実態に合わせて教材や指導方法を工夫し思いを伝えたいという意欲を高める。 ○日常生活を通して、身近な人やモノの名前、動作や状態、感情を表す言葉について身に付ける。